

水土里ネットおおいた

土地改良広報 No.317



施設見学会（平成28年8月2日 昭和井路土地改良区）

Contents

02 会議室

農業農村整備の集い
一農を守り、地方を創る予算の確保に向けてー
大分県農業農村整備事業推進協議会
並びに農地海岸保全協会の総会
第4回大分県土地改良振興大会
九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会
合同会議
大分県多面的機能支払推進協議会通常総会
九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団
体連合会九州協議会 合同政策提案会
平成28年度 第1回監事会・監査及び第1回理事会

07 インフォメーション

平成28年度 土地改良関係団体職員研修会
大分県土地改良区理事長会 現地研修及び総会
平成28年度 農業土木技術研修会
～ため池に関する技術について～
今後の予定
熊本地震による大分県内の農地・農業用施設災害
の状況について
由布高校出前授業を実施
進藤かねひこ参議院議員誕生
農業農村整備事業関係予算について

9

2016
September



会議室

農業農村整備の集い ―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―

平成28年5月30日(月)、砂防会館別館シェーンバッハ・サボー(東京都千代田区)において、全国土地改良事業団体連合会及び都道府県土地改良事業団体連合会の共催による「農業農村整備の集い」が開催され、来賓として加藤農林水産大臣政務官、稲田自由民主党政務調査会長、衆・参両国会議員をはじめ、全国から約1,000名の水土里ネット関係者が出席した。

はじめに、主催者を代表して二階俊博全土連会長が挨拶、来賓祝辞に続き、進藤かねひこ都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問より農業農村の情勢報告が行われ、報告の最後に「土地改良は日本の命綱である。この綱をしっかりと守っている農家や土地改良区の皆様の声をお聞きし、国政にお届けする。まさにキャッチボールの強靱なボールの役目となって、農業農村を巡る課題の一つでも多く解決できるよう、これからも全身全霊で頑張っていく」と述べられた。

続いて、水土里ネット熊本より「平成28年熊本地震」における土地改良区の被災及び取組の状況報告、安来市土地改良区(島根県)、笛吹川沿岸土地改良区(山梨県)による農業農村整

備事業に関する取組の事例報告があった。

その後、『平成29年度当初予算の十分な確保』と『平成28年度予算の追加的な予算措置を講じること』とする要請書が提案され、満場一致で採択し、最後に、参加者全員によるガンバロウ三唱が力強く唱和され、幕を閉じた。



大分県農業農村整備事業推進協議会 並びに農地海岸保全協会の総会



平成28年5月16日(月)、土地改良会館5階大会議室において平成28年度大分県農業農村整備事業推進協議会の総会が全会員出席により開催された。総会には来賓として大分県土地改良事業団体連合会義経会長、大分県農林水産部石井参事監、山本参事監の出席を賜り、それぞれに祝辞をいただいた。議事では平成27年度事業

報告及び収入支出決算が承認され、平成28年度事業計画では国、県に対し事業推進のための更なる支援を要望すること、事業推進のための会員相互の連絡、情報提供の充実等の活動項目が承認された。また、役員改選で会長に宇佐市是永市長、副会長に九重町坂本町長、豊後大野市橋本市長がそれぞれ再任された。

総会終了後、中会議室において平成28年度大分県農地海岸保全協会総会が開催された。来賓には大分県農林水産部山本参事監の出席をいただき祝辞を述べられた。議事では平成27年度の活動内容が承認され、平成28年度の活動としては九州農地海岸保全協会と連携を強化した中で、国に対し事業推進のための要望活動を行うことを確認した。

また、役員改選において会長に豊後高田市永松市長、副会長には国東市三河市長が再任された。

第4回大分県土地改良振興大会



主催者挨拶（義経会長）



来賓挨拶（広瀬知事）



地域の声（石崎さん）



地域の声（小代さん）

平成28年6月17日（金）、大分県土地改良振興大会をホルトホール大分（大分市）で開催した。「水、土、里を活かし、次世代へ」の大会テーマの下、市町村や土地改良区の役職員、土地改良事業関係者約800名が参集。

主催者として、義経県土連会長が、「TPP大筋合意を受け、農地の集約化と土地改良事業を連携し行っていくことが重要である。今後は農地の大区画化と汎用化に積極的に取り組む」等の挨拶を行った。

来賓として、広瀬知事、金丸九州農政局長（代理）山田次長、田中大分県議会議長より挨拶を受けた。

また、地域の声では、千町無田土地改良区石崎さんと豊後大野市農林整備課小代主幹がそれぞれの地域の農業情勢や維持管理等の取組みの現状を発表した。

続いて、美しく豊かな「水」「土」「里」がもつ機能と役割を次世代へ引き継いで行くため、4事項の大会決議が採択された。

大会終了後に、都道府県土地改良事業団体連合会 進藤かねひこ顧問による「『闘う土地改良』の先頭に立って」と題して基調講演を行った。



基調講演（進藤顧問）

九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会 合同会議

平成28年5月27日（金）、福岡市で九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同会議が開催された。平成28年度に国と関係国会議員等に行う政策提案活動の日程や提案内容を審議、決定する会議である。

この後、農業農村整備研修会が開催され、情勢報告と、農業農村整備優良地区コンクールで農業生産基盤部門の農村振興局長賞を受賞した（山田原土地改良区（長崎県）による事例発表が行われた。

情勢報告では、九州農政局農村振興部登り設計課長より農業農村整備事業予算、新たな土地改良長期計画、国土強靱化地域計画について説明があった。

また、水土里ネット熊本の米村事務局長より今年4月に発生した熊本地震の状況について写真・表・グラフ等を用いて説明があった。土地改良関係の被害額が600億円以上との報告があり被害額の大きさに驚かされた。

大分県多面的機能支払推進協議会通常総会

平成28年6月7日（火）、土地改良会館大会議室において多面的機能支払推進協議会の通常総会が開催された。総会では開会にあたり本協議会の会長である大分県土地改良事業団体連合会義経会長より、「現在、面積の拡大に取り組んでおり平成27年度の取組面積は21,900haだったが、本年度は800ha増の22,700haを目標に推進しているところである。そのため引き続き皆さんの協力をお願いしたい」と述べられた。

その後、「平成27年度事業報告」「平成27年度

収入支出決算」「規約の改正」「平成28年度事業計画」「平成28年度収入支出予算」の議案について満場一致で承認された。

引き続き、大分県農村整備計画課農村環境保全班の吉田課長補佐より県下の多面的機能支払交付金の取り組み状況や取り組み拡大に向けた具体的な対応策などの説明があった。

協議会としては、本年度も事業計画に則り大分県、市町村、改良区と連携し事業推進並びに本事業の制度についてのPRに努めていきたい。

九州農業農村整備事業推進協議会 ・土地改良事業団体連合会九州協議会 合同政策提案会



平成28年7月12日（火）、九州農政局にて、九州8県41名出席のもと、九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会合同による政策提案会が行われた。大分県からは、義経会長、小川常務理事、是永大分県農業農村整備事業推進協議会会長他3名が出席した。九州農政局については、金丸農政局長をはじめ、山田次長、農村計画部堀畑部長や地方参事監、各課課長の18名が参加した。

提案会では、農業農村整備事業の強力な推進に向け、5項目の柱となる提案がなされた。

この項目には、さらに詳細な項目が提示されており、現在の情勢や状況を踏まえた説明と考えを説明し、さらに、今後の動向を加えた提案要請を行った。

回答については、すべての要求項目に対し理



解を示して頂き、その多くは、今後本省に要望して頂けることとなった。

また、提案終了後、その他の意見・要望の時間が設けられ、義経会長より、「予算の確保」について強く要望を行った。回答については求めなかったものの、農政局の方々は興味深く耳を傾け、今後の対策について早期実施を考えているように感じられた。

【 提案内容 】

1. 農業農村整備事業に係る平成28年度予算追加措置及び平成29年度当初予算の確保並びに震災からの復旧・復興に係る財源の確保
2. 農業農村整備事業における地元負担金の軽減
3. 水土里情報システムの更新に係る予算の確保
4. 多面的機能支払交付金の必要額の確保
5. 土地改良区の健全な運営のための支援

平成28年度 第1回監事会・監査及び第1回理事会

平成28年7月5日（火）、平成28年度第1回監事会・監査が橋本総括監事、渡辺・有瀬両監事出席のもと開催された。監事会では、年間の実施計画として10月に中間監査と補正予算の審議、2月に最終補正予算の審議を行うこととし、年3回の監事会の開催を承認した。また、今回の監査の実施計画を承認した後、平成27年度の事業報告・決算について監査が行われた。監査では事務局の説明後、諸帳簿・証拠書類等を実査し、総評では橋本総括監事が「事業報告については連合会の状況を正しく示しており定款に違反するような事実は認められない。決算書類においても財産及び収支の状況を適正に示している。本年度についても効率的・健全な財政運営につとめること」と結んで終了した。

8月1日（月）、第1回理事会が理事15名全員出席のもと開催された。また、決算報告のた

め渡辺監事の出席もいただいた。

議事では、第1号議案において平成27年度事業報告並びに一般会計、特別会計決算及び財産目録の承認について審議がなされ、監査報告とともに出席理事全員の賛成により承認された。また、第2号議案では、平成28年度業務執行状況について当初予算と6月時点の見込みとの比較から業務執行状況を報告、出席理事全員の承認を得た。第3号議案では、九州農政局検査指摘事項に関する改善措置について承認を受けた。議事の最後には、その他として、10月25日に石川県にて開催される全国土地改良大会について説明を行った。

議事終了後、大分県農林水産部石井参事監兼農村整備計画課長より、最近の農業農村整備関係の情報提供があり、平成28年度県予算の内容と取り組みなどについて報告された。

平成28年度 土地改良関係団体職員研修会



平成28年7月22日（金）、平成28年度土地改良関係団体職員研修会を開催した。参加者は大分県、市町村、土地改良区、土地連職員約100名で、水土里ネット大分小川常務理事の挨拶に続き、九州農政局農村振興部土地改良管理課藤原課長を始め9名の講師により右内容で講義が行われ、熱心に聴講された。

【講義内容】

1. 土地改良区体制強化基本計画の策定促進について
2. 個人情報保護法・マイナンバー制度について
3. 土地改良区等における複式簿記会計・外部監査の導入計画について
4. 土地改良施設の安全管理体制及び適正な業務運営の取組について
5. 農地中間管理機構の農地の集積・集約について
6. 農業水利施設の適正な監視・保全計画について
7. 複式簿記簡易システムの使用方法について
8. 農業基盤整備資金について
9. 土地改良施設維持管理適正化事業について

大分県土地改良区理事長会 現地研修及び総会

平成28年7月25日（月）、大分県土地改良区理事長会の研修・総会が竹田市で開催された。理事長会の研修・総会は県下持ち回りで開催されており、今回は大自然の恵みを活かした農業や土地改良遺産、観光が基幹産業となっている竹田市が会場となった。竹田市役所に集合した一行は、市が提供したマイクロバスに乗り込み研修地に向かった。今回の研修は荒城の月の詩で有名な岡城跡、研修農場で新規就農者の育成と経営実証を行っている（一社）とまと学校、浸透抑制工事を実施している大蘇ダムの3ヶ所を視察した。

視察の後、竹田市役所直入支所にて平成28年

度総会を開催した。総会では平成27年度の事業報告と収入支出決算が承認された。また、平成28年度の事業計画においては、大分県知事との意見交換会を来年の1月12日に行うためのスケジュール等を確認するとともに予算についても承認された。さらに役員改選では、新会長に並石土地改良区理事長の三上忠治氏が選任され、今年度から2名体制となった副会長には、玖珠町土地改良区理事長の園田龍馬氏と提子土地改良区理事長の佐藤一富氏、監事には国東町土地改良区の木戸昌夫氏と須ノ原土地改良区の小山一善氏が選任され、向こう2年間この体制で理事長会を牽引することになった。



とまと学校



直入支所で行われた総会

平成28年度 農業土木技術研修会 ～ため池に関する技術について～

平成28年8月29日（月）、土地改良会館において農業土木技術研修会を開催した。この研修会は、公益法人たる本会の社会貢献事業の一環であるとともに「農業土木技術の継承」につなげていくことを目的として平成25年度より実施しており、今回も一昨年と昨年に引き続き県下2,150ヶ所にのぼる「ため池」に関する技術をテーマに開催したところ、土地改良区や市町村・県・設計コンサルタント等の農業土木関係者ら約150名の参加があった。



主催者として、義経県土連会長が、「ため池をはじめ土地改良施設の老朽化が進み、ベテラン技術者が減少していく中、いかに農業土木技術者を確保するかが課題。農業土木の中で最も技術を要するため池の技術をしっかり学び、産官学連携して引き継いでいく場としたい。」と挨拶を行った。

【講演内容】

■ 講演1 『ため池の減災対策（ハザードマップ）について』

○大分県土地改良事業団体連合会 農村整備計画課 課長補佐 伊東 哲士氏

ため池の減災対策の必要性から、ハザードマップ作成にかかる各種留意点等を、実施事例を交えながら講演いただいた。

■ 講演2 『ため池維持管理手法の一事例について』

○小代築炉工業株式会社 土木営業部 課長 井戸川 幸弘氏

会社の築炉部門の技術を応用した強力吸引車によりため池の堆積土砂を短期間で除去し施設の機能回復を図った事例を、その他水路や暗渠等、災害や多面的機能支払などの場面でも有効に活用している事例等も交え講演いただいた。

■ 講演3 『ため池改修・堤体盛土の課題について ～地震動に対する耐震性能照査（調査）～』

○（（一社）大分県地質調査業協会）明大工業株式会社 調査部 課長 吉松 史徳氏

熊本地震を含め過去の大地震の被害状況などを紹介し、「ため池の堤体盛土」にかかる耐震性能の照査と液状化の検討について地質調査の立場から設計基準を解説するとともに、新しい調査技術を紹介し今後の現場課題対応への可能性などを講演いただいた。

■ 講演4 『ため池改修等に関する技術開発において、いま困っていることは何ですか？

～大分県発の戦略的ため池改修等技術開発を目指して～

○大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 教授 佐野 博昭氏

ため池にかかる現場の各種課題解決に向けて、問題点の捉え方や関係者の対応姿勢のあり方などの要点を研究開発の立場からわかりやすく説明され、大分ならではの地域産材料を積極的に活用した改修技術の伝承を提言するなど、今後の連携につながる講演をいただいた。

今後の予定

10月12日	第2回監事会・監査
10月15日～16日	大分県農林水産祭
10月17日	第2回理事会
10月24日～26日	全国土地改良大会（石川県）
11月25日	大分県土地改良区事務局連絡協議会研修会
11月28日	農業農村整備の集い
1月中旬予定	土地改良区理事長会と県知事との懇談会
1月19日	土地改良役職員研修会



熊本地震による大分県内の農地・農業用施設災害の状況について

平成28年4月14日 21時26分頃に熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5（最大震度7：前震）の地震が発生し、4月16日01時25分頃に同じく熊本県熊本地方を震源とするM7.3（最大震度7：本震）が発生し、その後も断続的に余震が発生した。

震度6弱 別府市、由布市

震度5強 豊後大野市、日田市、竹田市、九重町

震度5弱 大分市、臼杵市、津久見市、佐伯市、玖珠町（本震における震度5弱以上を記載）

一連の地震により、農地440箇所、農業用施設185箇所の合計625箇所、被害金額で9億5千5百万円の被害報告（詳細は別表を参照）を6月7日に九州農政局へ行った。

また、早急な水路の復旧のために、農政局と事前協議を行い1件の査定前着工を実施した。

7月25日から9月2日までの間、4週間で延べ5班による、農地153箇所、農業用施設68箇所の合計221箇所の災害査定が終了し、引き続き早期復旧に努める。

農地・農業用施設被害集計表（暫定法関係）

単位：千円

市町村名	農地		農業用施設		合 計		農 地 内 訳				農 業 用 施 設 内 訳					
	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	田		畑		頭首工		水路		道路	
現市町村	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額
別府市	127	110,000	40	44,000	167	154,000	60	50,000	67	60,000			40	44,000		
日出町	6	9,000	4	11,000	10	20,000	6	9,000					2	7,000	2	4,000
大分市			2	62,000	2	62,000							2	62,000		
由布市	237	355,000	93	154,000	330	509,000	191	282,000	46	73,000			81	130,000	12	24,000
竹田市	12	23,000	29	82,000	41	105,000	12	23,000			3	3,000	20	70,000	6	9,000
日田市	27	22,000	5	19,000	32	41,000	19	17,000	8	5,000			2	15,000	3	4,000
九重町	24	32,000	12	25,000	36	57,000	20	28,000	4	4,000			7	20,000	5	5,000
玖珠町	1	1,000			1	1,000	1	1,000								
宇佐市	6	6,000			6	6,000	3	3,000	3	3,000						
合 計	440	558,000	185	397,000	625	955,000	312	413,000	128	145,000	3	3,000	154	348,000	28	46,000

由布高校出前授業を実施

本年も由布高校より依頼があり平成28年7月5日（火）、大分県立由布高校において出前授業が開催された。授業では観光コース専攻の3年生の生徒28人を対象に座学、現地見学を行った。

座学では、本会小川常務理事より「『水』『土』

『里』を活かし、次世代へ」と題して45分間の授業が行われた。

現地見学では、元治水井路土地改良区

の佐藤高信理事長の案内と解説により、由布市小挾間にある小挾間川井堰を見学した。元治水井路は農業用水の他に別府市の浄水場へ水を配水しており、農業は基より生活に欠かせない重要な水路となっている。生徒たちは理事長の説明を熱心に聴いていた。



佐藤理事長



小川常務理事

進藤かねひこ参議院議員誕生

平成28年7月10日（日）、第24回参議院通常選挙にて、我々土地改良の代表として進藤かねひこ氏が当選されました。

進藤議員は、「土地改良は日本の命綱」であることを強く訴えてこられ、農政新時代を拓いていく上で、その基盤となる農地と水利施設の保全・機能の向上が必要であると深く認識されております。

進藤議員には、農業農村整備事業予算の確保等、幅広い活躍を期待します。



7月20日（水）、当選後初来県

農業農村整備事業関係予算について

平成28年度の補正予算が閣議決定され、農業農村整備事業は昨年度990億円であったのに対し、1.8倍の1,752億円となった。また、平成29年度の概算要求が公表され、農業農村整備事業関係予算は昨年度3,820億円であったのに対し、1.2倍の4,584億円が要求された。

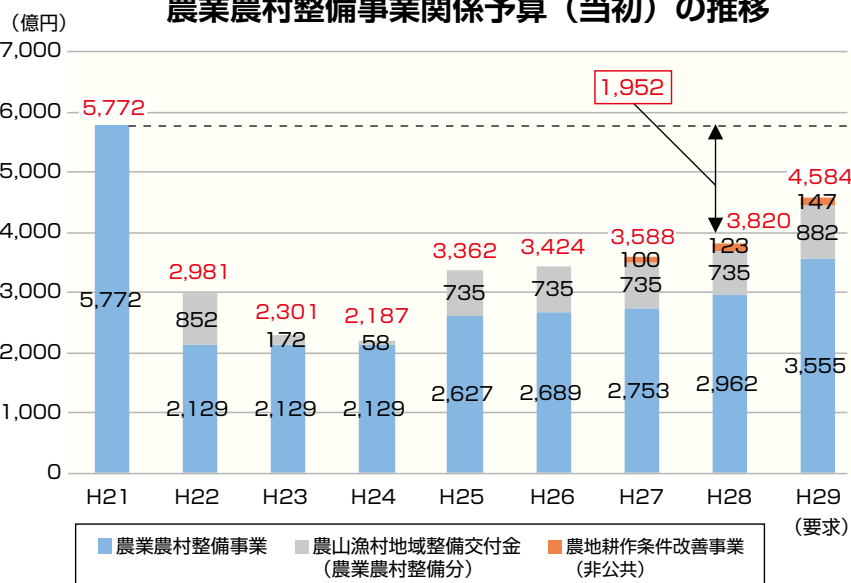
- 農業農村整備事業の平成29年度の概算要求については、農業競争力強化のための農地の大区画化・汎用化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設長寿命化・耐震化対策、ため池の管理体制の強化等を推進するため、3,555億円を要求。
- 農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業と合わせて、対前年度比120.0%の4,584億円を要求。

平成29年度予算概算要求

単位：億円

	H28予算	H29概算要求	前年度比
農業農村整備事業	2,962	3,555	120.0%
農山漁村地域整備交付金 (農業農村整備分)	735	882	120.0%
小計	3,697	4,437	120.0%
農地耕作条件改善事業 [非公共]	123	147	120.0%
合計	3,820	4,584	120.0%

農業農村整備事業関係予算（当初）の推移



水土里ネット大分



大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局4F）
TEL097-536-6631 FAX097-533-8955
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419

